メキシコ民謡

作詞 佐木 敏

ラクカラチャ でこぼこ道を ラクカラチャ 牧場(まきば)の中の 車にゆられて 仕 森のはずれには出のふもとまで ラクカラチャ ラクカラチャ ぼくたちの顔に ゆらゆらゆれて ラクカラチャ ラクカラチャ ラクカラチャ 事にでかける 続いている道 朝日がまぶし サイロが見えるよ

ラクカラチャーラ空を見上げれば 乳をしぼるのは 草刈りの仕事 日働き 車にいっぱい ぼくたちの仕事 ラクカラチャ きみたちの仕事 お日さま笑う

車がゆくよ

ラクカラチャ

ラクカラチャ ニゆらゆらゆれて 牧場(まきば)の中の でこぼこ道を ラクカラチャ ラクカラチャ ラクカラチャ

ラクカラチャ ラクカラチャ

車がゆくよ

タ日に向かうと 長い影ぼうし ギターにあわせて ゆかいに歌おうよ 乾草(ほしくさ)を運ぶ ぼく ラクカラチャ ラクカラチャ ゆらゆらゆれて らのあとから ラクカラチャら 追いかけてくる ラクカラチャ 車の上でも

牧場(まきば)の中の

ラクカラチャ

ラクカラチャ

ラクカラチャ

でこぼこ道を ラクカラチャ

> 他に 津川主一 町田 直 穂高五郎 ともしび版 あり

メキシコ民謡

作詞 佐木

も كے ま

続いている道

は d'a は

らが 見 え るよ

車 Ø れ 仕事にでかける

朝 ぼ < がまぶ 顔 いに

ラク Ø 5 カラチ ゆらゆ. ヤ れ ラクカラチャ

ラ ク 場(まきば)の中 カラチ ラクカラチ

ラ ク ぼこ道を カラチ ラクカラチャ

ク カラ ラクカラチャ

作詞 メキシコ民謡 佐木 敏

乳を 働き る 事 車 は いぼ つぱ < た いち

お日さま笑う空を見上げれ きみた たち の仕 事

め ラクカラチ 5 ゆらゆれ P ラクカラチャ

ラ 0 場(まきば)の中 カラチ クカラチャ

カラチ ぼこ道を ラクカラチ

ラク カラチ ラクカラチャ

作司 左木 かメキシコ民謡

作詞佐木

3.

乾草 (ほしくさ)を運ぶ

車の上でも

ガーにあわせて

ゆか に 向かうと に歌おう 長い影ぼうし

追いかけてくる

5

 $\mathcal{O}$ 

あとから

ラクカラチャ

ラクカラチャ

ゆらゆらゆれ

牧場(まきば)の中の ラクカラチャ ラクカラチャ

 $\vec{c}$ ぼこ道を カラチャ ラクカラチャ

車がゆくようクカラチャ

ラクカラチャ

3/3

メキシコ民謡

作詞 町田直

愉 快  $\exists$ に 娘たちゃ 踊るよ ルをなびかせ 踊りが大好き

ラ 靴音ひびかせ クカラチャ の若者も 踊りは大好き 陽気に踊るよ ラクカラチャ

ラクカラチ しく踊るよ ヤ ラクカラチ

拍子をそろえて

ラ クカラチ ヤ フクカラチャ

ラクカラチ 子をそろえ ラクカラチャ

陽気に踊るよ

作詞 メキシコ民謡 不詳

ヤれ シこ村 ラクカラーチャンョウルをかけてはいれをば迎える

ヤヤ ラクカラーチャ

ヤ ラクカラーチャ

ラクカラーチラクカラーチ ヤ

ラクカラーチャ

ヤ 心にのこるさは、いつ来るのかしらこれをば見送るが見送る。 ラクカラ

ヤヤ

ラクカラーチャ

ヤ ラクカラーチャ

ラクカラーチーラクカラーチー ヤヤ

ラクカラーチャ

# チ

作詞 メキシコ民謡 穂高五郎

か太今メ愚僕 き鼓宵キから なをこうなの らたそコ女胸 せたにはに は 潮がたぎるよ

あな かそう

ギけ踊や

ラ

クカラチャ

かう れク

カラチャ

太調みラか手ラみラ 夕あ ラト

カラチ

ろう

End

ともしび版あり

ともしび版 メキシコ民謡

僕 5 (T) でも 中 W. 間が **5**"

集 踊 る歌さ まるとき

S 歌しり っつ って踊る歌さ から

歌 いたまえ よ

ラ ク 夕 カラ ーを チ 弾

ラク

カラチャ

カラチャ

سل のクんク チでチャ P

> ラク カラチャ

君う たまえ、カラチ カギカはカララ ヤで

ラクカラチャ

**End**